

私の学習法

教育実習生 川井琴音

6月6日から7月1日まで教育実習でお世話になっている川井です。今回は私が実際に行っている学習法についてお話ししたいと思います。この方法が合う人・合わない人いると思いますので、あくまで参考程度にご覧ください。

○間違えた問題を繰り返し解く

私は問題集を解いていて間違えた問題が出てきたとき、必ず問題集にチェックを入れるようにしています。間違えた問題を後で解き直せるようにするためです。勉強をするときに大事なことは、「○問正解した」「○問間違えた」という結果よりも、「**解けなかった問題が解けるようになること**」だと私は思っています。分かる問題だけ正解して解けない問題は放置していたのでは、何も成長しませんよね。ですから私は、一冊の問題集をできる限り繰り返すようにしています。よく「答えを覚えるくらいまで繰り返し解け」なんて言う人もいますが、私自身も時間に余裕がある時は何周も何周も解いています。

期末試験が近づいていますが、この方法に興味を持ってくれた人、まずは学校のワークを2周することから始めてみてはどうでしょうか。(ワーク提出もあると思うので、書き込む前にコピーをとって繰り返せるようにするなど、その辺りは自分で上手く工夫してみてください)

○解くべき問題を見極める

先ほど「一冊の問題集を繰り返し解く」と言いましたが、当然のことながら時間は無限にあるわけではありません。そのため、自分が解くべき問題を見極めることが大切です。例えば60点を目指す場合、何時間もかけて難問一題を解けるようにするよりも、その時間を使って基本的な問題を確実に解けるようにする方がよっぽど効率的です。私は一通り解いてみて間違えた問題のうち「自分のレベルには必要ない」と思ったものは、繰り返さずにそこで終わりにしています。また、一度解いてみて簡単に解けた問題を繰り返す必要もないでしょう。自分で見極めることは難しいかもしれませんが、**自分の目標を達成するために何が必要なのか考えることは大事なことです。**

○終わりに

…偉そうに持論を語ってしまいました。私がこの方法で勉強するようになったのは高校生になってからです。中学生の頃は何も考えず、ただがむしゃらに勉強していました。もちろん効率的に出来るならそれに越したことはありませんが、ひたむきに突っ走ってみることも、それはそれで大事なことだと思います。その中で、自然と自分の勉強法が定まってくるのではないのでしょうか。頑張ってください！